

○H26 法奥小学校森林・林業体験学習の実施

十和田市立法奥小学校6年生を対象に森林・林業体験学習を6月5日(木)、6月11日(水)及び6月18日(水)の3日間にわたり実施しました。

これは、従来から取組んでいる同校3年生を対象に「森林のもつ機能・重要性」を重点にした森林教室から、地域の基幹産業のひとつである「林業」、「製材」、「利用」という木材関連業をもっと知ってもらうことに重点に、一歩踏込んだ「人と森林との関わりを学ぶ」機会として、同校と連携し昨年から取組んでいる体験学習です。

まず1日目は、教室(6月5日5時限目45分)で、木の伐採から使用されるまでの一連の流れを当署の職員が説明し、現場見学前の事前学習によりイメージを持っていただきました。

次に2日目以降(6月11日、18日)は、朝から実際の現場作業を見て、感じて、体験をしてもらう学習として、(有)下久保林業の間伐作業現場で木を伐採から丸太にする一連の作業を事業者から説明、見学し、直に立っている木が倒れる瞬間や伐採後伐根、林業機械に触れ、午後からは、上北森林組合木材加工センターにおいて、トラックにより丸太が運び込まれ、製材され柱や板等に加工される行程等を加工センター職員の案内により見学、木製品に触れ2日目を終了しました。

3日目は、(有)岩木建設のモデル住宅にお邪魔し、木材が加工されどのように住宅に使用されるか、木の種類と特性、特徴など利用方法を社長自ら説明し、実際にカンナかけを体験、ドリルを使いペン立て作りを体験しました。

生徒達の体験学習前のアンケートでは、木材の利用過程を半数が「良く解らない」との回答でしたが、この3日間を通して「良く解った」に変わったほか、木の特性を生かした利用などに感激した回答もあり、林業体験学習の中で、立木から木材、木材から柱・板、柱・板から住宅に木を利用する一連の流れを体感する中から理解してくれたようです。

また、木を伐って利用したら、再造林するなど、利用したら「人が森林へ関わる」ことの重要性を少しでも認識してくれたのではと思っています。

今回ご協力頂いた事業者及び事業者の職員の方々には、お忙しい中、快くご協力いただき誠にありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。



事前授業



伐採現場



製材工場



モデルハウス



林業機械の
紹介・説明・実演



カンナかけ体験



丸太運搬トラック
の積み降ろし作業
見学



製材加工行程の説明を真剣に聞く